

2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年8月9日

上場会社名 株式会社RKB毎日ホールディングス
 コード番号 9407 URL <http://rkb.jp/holdings>

上場取引所 福

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 良次

問合せ先責任者 (役職名) グループ経営企画局担当局長 (氏名) 古賀 輝

TEL 092-852-6624

四半期報告書提出予定日 2018年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	6,003	△3.0	197	△69.5	273	△62.6	177	△59.8
2018年3月期第1四半期	6,190	3.4	649	148.3	730	120.4	441	21.9

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 292百万円 (△48.3%) 2018年3月期第1四半期 566百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	80.83	—
2018年3月期第1四半期	201.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第1四半期	45,546	33,374	71.7
2018年3月期	46,625	33,282	69.8

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 32,665百万円 2018年3月期 32,544百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	—	—	90.00	90.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	75.00	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,520	0.4	550	△46.1	630	△43.5	350	△50.8	159.65
通期	26,380	△0.7	1,750	△20.6	1,870	△20.6	1,190	△22.7	542.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年3月期1Q	2,240,000 株	2018年3月期	2,240,000 株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2019年3月期1Q	47,655 株	2018年3月期	47,655 株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2019年3月期1Q	2,192,345 株	2018年3月期1Q	2,192,496 株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
3. 参考情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用、所得環境などは改善傾向にあり、緩やかな景気回復の状況が続いております。

そのような状況の中、主に放送事業、システム関連事業収入が前年を下回りました。また営業費用についても、前年同期にあったシステム関連子会社において退職金制度変更に伴う引当金の取崩し3億63百万円がなく、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は60億3百万円(前年同期比 3.0%減)で減収となり、営業利益は1億97百万円(前年同期比 69.5%減)、経常利益は2億73百万円(前年同期比 62.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億77百万円(前年同期比 59.8%減)でいずれも大幅な減益となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

①放送事業

放送事業は、収入41億96百万円(前年同期比 3.1%減)、営業利益2億35百万円(前年同期比 47.5%減)となりました。

テレビ部門は、収入37億11百万円(前年同期比 3.5%減)となりました。主力商品のスポット収入は、化粧品・洗剤・トイレタリなどが伸びたものの、流通・小売、通信・アプリなどが大きく落ち込み6.0%減となりました。さらにタイム収入も0.7%減となりました。

ラジオ部門は、収入4億84百万円(前年同期比 0.2%減)となりました。制作収入はイベント等の実施により24.0%増となったものの、スポット収入が15.6%減、タイム収入が1.5%減となりました。

②システム関連事業

システム関連事業は、収入7億72百万円(前年同期比 20.7%減)、営業損失1億44百万円(前年同期は営業利益2億1百万円)となりました。

ソフトウェア開発業界では競争が一層の厳しさを増す中、自治体向けソフトウェア開発および機器販売が減少し、減収となりました。利益面では、前年同期にあった退職金制度変更に伴う引当金の取崩しがなく、営業損失となりました。

③不動産事業

不動産事業は、収入2億72百万円(前年同期比 2.2%増)、営業利益2億87百万円(前年同期比 11.6%増)となりました。

テナント収入の増加により増収増益となりました。

④その他事業

その他事業は、収入7億63百万円(前年同期比 23.5%増)、営業利益22百万円(前年同期は営業損失33百万円)となりました。

催事部門では、JR九州ホールで「アートアクアリウム展2018」を開催し、多くの入場者を集めました。このほか、今年3回目を迎えた福岡縣護国神社での野外音楽イベント「福岡音楽祭音恵ONKEI2018」や福岡アジア美術館で「ミュシャ展～運命の女たち～」などを開催し、増収となりました。利益面でも営業利益を確保しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、455億46百万円と前連結会計年度末と比べ10億79百万円減少しました。これは主に、回収等により受取手形及び売掛金が16億57百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の総負債は、121億72百万円と前連結会計年度末と比べ11億71百万円減少しました。これは主に、支払等により未払費用が6億23百万円、支払手形及び買掛金が2億99百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、333億74百万円と前連結会計年度末と比べ92百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益を1億77百万円計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期累計期間および通期の業績予想につきましては、2018年5月17日に公表いたしました予想数値から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,064	8,746
受取手形及び売掛金	4,197	2,539
有価証券	64	164
たな卸資産	71	261
その他	2,502	3,147
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	15,898	14,857
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,643	6,568
機械装置及び運搬具（純額）	1,012	960
土地	13,320	13,320
その他（純額）	1,574	1,516
有形固定資産合計	22,550	22,366
無形固定資産	280	262
投資その他の資産		
投資有価証券	5,556	5,744
その他	2,339	2,316
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	7,895	8,059
固定資産合計	30,726	30,688
資産合計	46,625	45,546
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	476	177
未払法人税等	136	101
その他	3,832	3,051
流動負債合計	4,446	3,329
固定負債		
退職給付に係る負債	5,270	5,202
その他	3,626	3,639
固定負債合計	8,897	8,842
負債合計	13,343	12,172

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	560	560
資本剰余金	4	4
利益剰余金	30,696	30,676
自己株式	△183	△183
株主資本合計	31,077	31,057
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,579	1,710
退職給付に係る調整累計額	△112	△102
その他の包括利益累計額合計	1,466	1,608
非支配株主持分	738	708
純資産合計	33,282	33,374
負債純資産合計	46,625	45,546

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)
売上高	6,190	6,003
売上原価	3,494	3,707
売上総利益	2,695	2,295
販売費及び一般管理費	2,045	2,097
営業利益	649	197
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	64	64
その他	16	11
営業外収益合計	81	76
営業外費用		
支払利息	0	0
その他	0	0
営業外費用合計	0	0
経常利益	730	273
特別利益		
補助金収入	—	1
特別利益合計	—	1
特別損失		
固定資産除売却損	0	1
ゴルフ会員権評価損	1	0
特別損失合計	1	2
税金等調整前四半期純利益	728	272
法人税等	244	119
四半期純利益	484	152
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	43	△24
親会社株主に帰属する四半期純利益	441	177

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)
四半期純利益	484	152
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	69	131
退職給付に係る調整額	12	9
その他の包括利益合計	82	140
四半期包括利益	566	292
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	523	318
非支配株主に係る四半期包括利益	43	△25

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計上については法定実効税率をベースとし、年間予測税率により計算しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	放送事業	システム 関連事業	不動産事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,332	973	266	617	6,190	—	6,190
セグメント間の内部売上高 又は振替高	51	13	209	352	627	△627	—
計	4,384	987	475	970	6,817	△627	6,190
セグメント利益又は損失(△)	447	201	257	△33	873	△224	649

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△224百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、当社における子会社からの収入66百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△290百万円が含まれております。全社費用は、当社のグループ経営管理事業に係る費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	放送事業	システム 関連事業	不動産事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,196	772	272	763	6,003	—	6,003
セグメント間の内部売上高 又は振替高	31	11	207	370	621	△621	—
計	4,227	784	479	1,134	6,625	△621	6,003
セグメント利益又は損失(△)	235	△144	287	22	401	△203	197

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△203百万円には、セグメント間取引消去1百万円、当社における子会社からの収入71百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△275百万円が含まれております。全社費用は、当社のグループ経営管理事業に係る費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 参考情報

RKB毎日放送株式会社 売上高の内訳

(百万円未満切捨て)

	前第1四半期累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)		当第1四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)		増減	
	金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	百分比(%)
テレビ収入	3,881	81.1	3,729	77.0	△151	△3.9
ラジオ収入	502	10.5	497	10.3	△4	△0.9
その他の収入	400	8.4	619	12.7	218	54.5
合計	4,784	100.0	4,846	100.0	61	1.3